

合否報告・卒業後の調査書交付 ・過年度生の制限推薦などについて

……大切な手順ですので、適切に対応してください

合否報告・調査書について

(1) 3月31日までは洛北高校の現役生として、従来通りの手続きで扱われます。

<確認事項>

- ①調査書の発行は担任より「調査書・推薦書等交付書」を受け取り、必要事項を記入し、担任に提出する。
- ②出願を取りやめた場合は「不出願」である旨を担任に報告するとともに、使わなかった調査書を開封せずすみやかに担任に返却すること。
- ③出願はしたが受験を取りやめた場合は、「不受験」である旨を担任に報告する。
- ④受験した場合は、合否の結果が判りしだい担任に（学校に登校しない場合は電話でも可）至急に連絡する。また担任から「合否結果報告書」を受け取り、合否の欄を○で囲み、担任に提出する。
- ⑤調査書は「第1希望」の学部学科で作成しているの、もし「第2希望」の学部学科にまわって合格したような場合は、その旨を担任に連絡した上で、受験結果報告書を提出する。
- ⑥追加合格、補欠合格または、入学する意志があれば合格にするなどの連絡が大学側からあった場合は、入学の意志にかかわらず合格扱いになるので、このような場合も、必ず担任にその旨を連絡すること（いったん不合格として報告書を提出した後であっても）。
- ⑦すべての受験が終わった時点で、最終的にどの大学、学部、学科に入学するのかを担任に必ず連絡する。浪人するときでも、自宅浪人するのか、どの予備校（校舎名も必要）に行くのかを担任に知らせておくこと（文科省の指定統計調査などで必要になる）。
- ⑧卒業後の調査書の提出を求める大学が何校かある。その場合も速やかに担任に調査書を発行してもらう。

(2) 4月1日以降については、卒業生として扱われますので次のとおり手続きをしてください。

- ①調査書等の発行はすべて事務室で行う。本人が1通につき400円の手数料を準備して、事務室に申し込む。その際本人確認ができるもの（保険証など）が必要となる。（平日8:30~17:00）
- ②例外として親や家族を通して申し込むことはできる。そのときでも
 - 卒業年度 ○旧クラス ○3年次の担任名
 - 志望大学、学部、学科
 - 代理人の身分を確認するもの（免許証、保険証など）
 が必要になるので、依頼する人に知らせておく。
- ③電話やインターネットによる申込はできないが、郵送での手続きは可能である。詳細はホームページの「卒業生の方へ」を確認すること。（ただし、手続きに必要なものや、申込時間について心配ならば、あらかじめ電話で確認しておくのが良い）。
- ④調査書等の作成は、十分な時間的余裕をもって申し込む。提出締切りの直前になって申し込むことのないようにする。過年度卒業生の調査書も、申し込んだ日に作成

できるようなものではない。必ず受け渡しまでに2日（土・日・祝日は除く）程度かかる。また、学校業務停止期間（8月10日~16日、12月28日~1月4日頃、本校HPで確認）は申込、発行ができないので注意すること。

- ⑤推薦書の作成が必要な場合、申請時に様式の提出が必要になる。この場合、作成に1週間程度かかる。
- ⑥過年度卒業生の調査書についても、募集要項に「△△年10月1日以降に作成されたものであること」のような但し書きが書かれている場合があるので、注意して作成依頼をする。
- ⑦現役生と同じくすべての受験結果がわかった時点で（遅くとも3月31日までに）洛北高校まで報告する。

(3) 卒業生の共通テストについては、学校を通してではなく、本人が出願することになる。「受験案内」は本人が9月1日以降に、国公立大学、共通テスト利用入試を行う私立大学・短期大学の事務室までもらいにくくか、テレメール等で取り寄せること（洛北高等学校では配布できません）。

(4) 卒業後、「合格体験記」の執筆や進路講演会の講演等をお願いすることがありますが、いずれも進路指導部長名による公文書での文書依頼となります。洛北高校の名のもとに電話で「個人情報」を聞き出すことは一切ありませんのでそのような電話があれば、断ってください（ただし、3月末までに報告すべき内容が報告できていない場合や報告に不備がある場合は、4月初旬に旧担任や進路指導部による電話確認はあり得ます）。また「合格体験記」については生徒に配布するだけでなく、洛北高校のホームページにもアップしますので、その旨を了解して書いていただきたく思います。

(5) 個人情報保護の観点から、個人名は一切出しませんが、後輩の進路研究に役立つため、進学校名は、掲示板や進路ニュース等で今後も掲載します。了解してください。

過年度生の制限推薦について

国公立大学の学校推薦型選抜入試のうち、

- (1) 過年度生に出願資格がある (2) 校内の推薦人数に制限がある
- の二つの条件すべてに当てはまる推薦を希望する者は、現役生と合わせて校内選考をする必要がありますので、8月中に、進路指導部に申し出てください。その際、
- ①卒業年度、 ②氏名、 ③学科・コース・3年次のクラスと担任名、
 - ④推薦を希望する大学・学部・学科、
 - ⑤推薦を希望する大学・学部・学科の推薦条件（条件すべてを正確に記すこと）、
 - ⑥推薦を希望する大学・学部・学科の校内推薦の制限人数、
 - ⑦出願期間、 ⑧出願に必要な書類名（a洛北高校で準備するもの、b本人が用意・作成するもの）、 ⑨確実に連絡がとれる電話番号
- の9項目を書いてもらいますのであらかじめ書類等をよく見て準備してから申し出てください。9月以降の出願希望の申し出等にはお応えできかねますので、ご注意ください。

人数制限がない総合型選抜(AO)・学校推薦型選抜であっても、調査書以外に洛北高校で書類作成が必要な大学・学部・学科の推薦を希望する者は出願期間初日の1ヶ月前までに進路指導部に連絡をしてください。急な申し出には対応できかねますので、ご注意ください。共通テスト後出願の学校推薦型選抜(京都工芸繊維大学など)については出願を希望する場合、共通テスト後すぐに連絡してください。

国公立大学欠員補充の2次募集について

国公立大学においては、3月中下旬に欠員補充の2次募集を発表する場合がありますが、進路指導部から情報発信することがむずかしいので、受験を検討する者はベネッセ等のホームページ等で確認の上、各大学が公表する募集要項を見てください。日程が非常に慌ただしいので、受験する場合はすぐに学校と連絡をとってください。